

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	放課後等デイサービスほほえみ		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 1日		～ 2026年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 4月 1日		～ 2026年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画に基づき、職員間で共有された一貫性のある支援体制が確立している。	・視覚支援や環境構成を工夫し、子どもが見通しを持てる支援を実施している。	・地域住民や関係機関との交流機会を拡大し、開かれた事業運営を推進する。
2	・日々の記録・振り返り・モニタリングを通じたPDCAサイクルが機能している。	・自己選択や自己決定の機会を日常的に設け、主体性の育成を意識している。	・外部評価や第三者の視点を取り入れ、客観的な業務改善体制を強化する。
3	・保護者との連携が密で、相談対応や情報共有が継続的に行われている。	・職員会議や日々の打合せにより、支援内容の共有と振り返りを徹底している。	・研修内容や連携で得た知見を職員全体へ共有し、支援の標準化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新規利用者への説明や面談機会が十分に確保できておらず、支援内容や体制の理解に差が生じている点が課題である。	・情報発信は行っているものの、個別理解に結びついていないケースがあり、周知の浸透度にばらつきが見られる。	・保護者の意見収集のタイミングに偏りがあり、評価結果に実態との差が生じる可能性がある。
2	・入所直後は環境適応を優先しており、十分な面談や説明の時間が確保できていないことが要因である。	・情報発信が一方方向になりやすく、保護者の理解度確認や双方向のやり取りが不足している。	・評価実施時期と利用開始時期が重なり、新規利用者の理解不足が結果に影響している。
3	・新規利用者に対して初期面談やフォロー面談を計画的に実施し、段階的な説明と理解促進を図る。	・資料配布やICT活用に加え、対面や個別説明の機会を増やし、双方向の情報共有体制を強化する。	・評価実施時期の見直しや補足説明を行い、正確な意見収集と実態に即した評価につなげる。